

発行所 産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1-16-14
編集局(非鉄) TEL 03(5566)8772
FAX 03(5566)8182
総務販売局(購読・配達) TEL 03(5566)8778
FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区本町1-5-15
TEL 06(6443)8551 FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市崑山関路85号 東方国際大廈C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

2014年(平成26年)
3月6日(木)
第18450号
Since 1936

産業新聞

Japan Metal Bulletin

日刊

TEL 052(331)3371
TEL 082(263)5523
TEL 011(756)1321
TEL 092(472)3887
TEL 022(223)9032
TEL 025(229)4085

サンクト

レアメタル前処理事業に参入

超硬工具 スラッジから タングステン濃縮



スラッジを焙焼する装置

レアメタル商社のサンクト(本社=東京都江東区、今川信雄社長)はこのほど、レアメタルリサイクルの前処理事業に本格参入した。超硬工具の製造工程で発生するタングステンを含む汚泥(スラッジ)を乾燥・焙焼することでタングステンを濃縮、超硬工具メーカーなどがリサイクルしやすい原料に仕上げ供給する。昨年6月、東海地区に工場を取得。グループ会社の傘下として設備改修や環境装置の取り付け改修を行い、年明けに本格稼働に入った。

焙焼設備が本格稼働

サンクトは超硬工具の製造工程で発生する炭化タングステン(WC)スラッジをメーカーから集荷。この工場の装置を使い、乾燥・焙焼処理を行う。これによりタングステン

を施して国内外の炭化タングステンメーカーに販売することも行っている。

炭化タングステンスラッジは水分や油分が多いため、産業廃棄物として処分されること

が多かった。リサイクル業者が有価物として引き取る場合もあったが、水分と油分の多さで適正な評価が難しいという課題があった。

サンクトは正確な計量データを委託加工契約先に提供することでこの課題を克服。適正な評価を可能としたこと

によって信頼を獲得し、レアメタルリサイクルの前処理事業を軌道に乗せている。

グループ会社傘下のこの工場では炭化タングステンスラッジ以外に、ニッケルめっきスラッジやニッケル水素電池の製造工程で発生するスラッジなどの前処理も行っている。

このスラッジの前処理は主に超硬工具メーカーと委託加工契約を結び行っている。委託加工契約以外にも、炭化タングステンスラッジを買い取り、前処理

きょうの紙面

1月アルミ圧延品稼働率74%に上昇
レアメタル問題の本質: 原田幸明氏講演
ウクライナ情勢緊迫緩和で非鉄相場反発

電池スラッジについて、は電池メーカーからの委託加工を行っている。

日本では使用済み超硬工具からの主原料の回収率を中国に依存しており、途絶リスクが大きいからだ。これまでタングステンのリサイクルの取り組みは、使用済み超硬工具からの回収が強調されがちだった。しかし、

工具の生産工程で発生する炭化タングステンスラッジも、推定で年2500トンの排出量とされているとされている。

タンクステン原料を安定して確保するには、こうした工場発生のス

ラッジからのリサイクルも促進していく必要がある。

一方、生産者の減産により、供給過剰は13年から25万2000トンの縮小が見通し。15年以降は供給不足に転じる。需給改善を受け、ロンドン金属取引所(LME)のアルミ相場は、年後半に若干上向きを切り上げる見込み。また、足元でプレミアム(割増金)が高騰していることについては、今後の動向を見極めたいとした。

軽金属事業部地金チームが策定した。14年の世界のアルミ需給は、需要が前年比6.1%増の5062万9000ト、供給が5.5%増の5094万1000トとなる見通し。中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

は、先述の通り、中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

は、先述の通り、中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

は、先述の通り、中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

は、先述の通り、中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

LME相場

亜鉛価格、鉛上回る

1年8カ月ぶり需給を反映

ロンドン金属取引所(LME)の鉛相場と亜鉛相場が、1年8カ月ぶりに逆転した。現地4日の現物相場(セトルメント)は、鉛が21102ポンド、亜鉛が2114ポンド、2日連続で亜鉛が上回

った。亜鉛のLME在庫が急減し、海外プレミアム(割増金)も鉛と逆転するなど、需給情勢に沿った値動きとなっている。

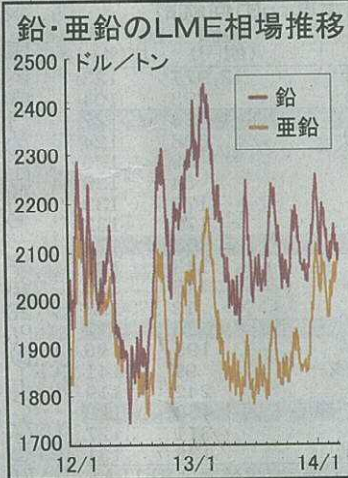
LMEの両相場は1月末の時点で約150ポンドの値差があったもの

の、2月の終盤に差しかかると急速に縮まった。ここに至り、週明け3日は15ポンドの需給要因に差が生じている。指標とされるLMEの世界総在庫はここ1カ月、亜鉛は欧米港を中心に約10万ト減少して、約75万ト

に水準を下げた。一方、鉛は昨秋からの減少スピードが鈍化して、20万ト余りで横滑りしている。

海外のスポット契約のプレミアムでも、鉛は急進した相場逆転の背景には、これら需給

のも、新たに盛り込む。例えば見積もりの際、品質が大きく異なるにもかかわらず海外工場に製造委託した場合の安価な価格を引き合いに出して大幅な値引きを要求するケースや、支



鉛・亜鉛のLME相場推移

世界アルミ新地金需給動向

Table with columns for Year, Need, and Supply. Rows include Japan, China, Asia (excluding Japan), North America, Europe, Middle East & Africa, and Global Total. Data is presented for 2013 and 2014 with percentage changes.

アルミ余剰幅14年縮小 15年以降は供給不足に

住友商事はこのほど、アルミ地金2013-14年回顧と展望を発表した。14年の世界アルミニウム需給

LMEのアルミ3カ月先物は、4-6月が1750-2000ドルに

4-6月 LME価格 1750-2000ドルに

極めたいとした。軽金属事業部地金チームが策定した。14年の世界のアルミ需給は、需要が前年比6.1%増の5062万9000ト、供給が5.5%増の5094万1000トとなる見通し。中国を除けば、需要は4.0%増の2677万4000ト、供給は2.3%増の2634万1000トで、43万3000トの需給不足を公表した。14年の世界アルミニウム需給

LMEのアルミ3カ月先物は、4-6月が1750-2000ドルに

4-6月 LME価格 1750-2000ドルに

000トの供給不足。今年の世界経済は先進国がけん引すると見られる中、自動車を中心とした米国のアルミ需要に期待が集まる。

中国の14年需給は、74万5000トの供給過剰。中国は昨年

中国の14年需給は、74万5000トの供給過剰。中国は昨年

神戸製鋼アルミ・銅事業 部門長に金子氏

神戸製鋼所は5日、4月1日付のアルミ・銅事業部門のトップに金子明氏を就任させた。

金子明氏は、01年アルミ・銅カンパニー銅管営業部長兼アルミ・銅カンパニー大阪地区担当部長、04年コベルコマテリアル銅管担当、大阪営業部長、09年執行役員、11年コ

わたり開催して、品展示会「LMI」中部2014」